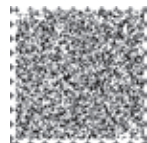


ウォーカブル・リバブル・サステナブルな都市をデザインする



100年先の未来を見据えた都市デザインの取組み

都市デザインとは、都市の生き立ちや地域資源などを読み解き、市民のライフスタイルから見た「目指すべき都市の姿」の実現に向けて、戦略的にプロデュースすることです。

これまでは、機能性や利便性、経済性を重視した都市づくりとなっていましたが、これからは、人々の出会いと交流により、豊かで充実した生活を実現する「都市」への再生が必要です。

豊かな緑と水辺と、都市の利便さが共存する 100 年先の未来を見据えながら、千葉市ならではのウォークアブル（歩きたくなる）、リバブル（暮らしやすい）、サステナブル（持続可能）な美しく心地よい都市の実現を目指します。

理念

ここにふさわしい都市の美しさと心地よさへの挑戦からはじまる
ひと中心の豊かな千葉の実現

目標1

すごしたくなる
緑と水辺がある

目標3

ひと・コト・モノ・
情報がつながる

目標5

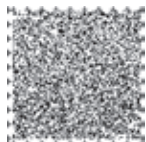
「千葉市といえば
ここ」が
すぐに思いつく

目標2

身近な地域で買い物
や用事をすませる
ことができる

目標4

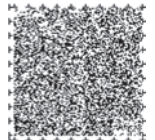
多様な人々が偶然
出会う居心地の良い
空間がある



市民がシビックプライドを持つ「わがまち・千葉」

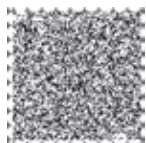
ちば・まち・ビジョン

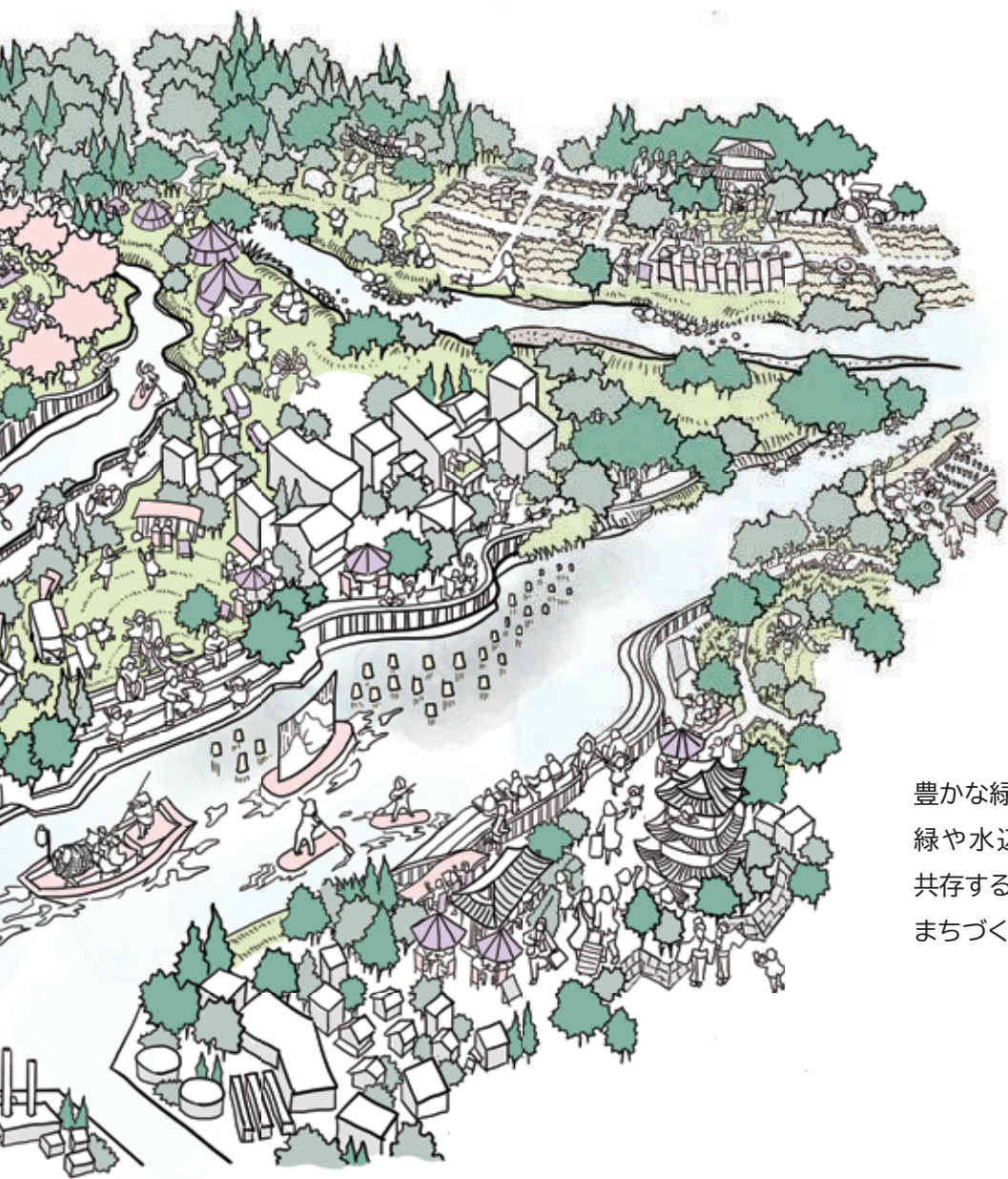
ウォーカブル（歩きたくなる）、リバブル（暮らしやすい）、
サステナブル（持続可能）な美しく心地よい千葉へ



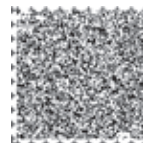
緑と水辺の豊かな都市づくり・まちづくり

そこにある緑と
水辺の潤いを感じ、
楽しめる千葉のまち



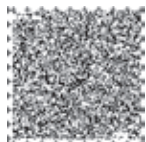


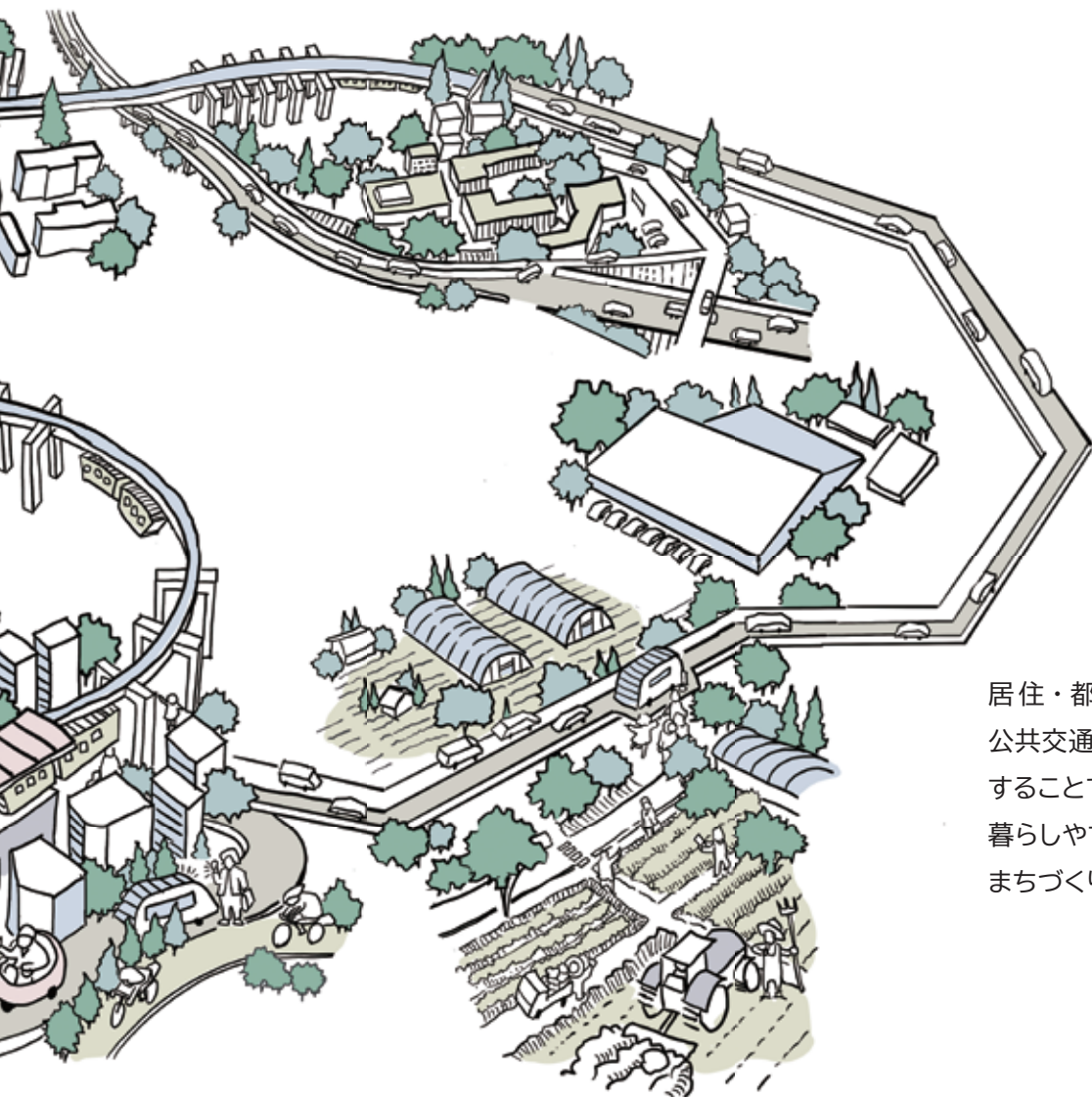
豊かな緑と水辺の保全・創出、活用を進め、
緑や水辺が身近に感じられ、人と自然が
共存する持続可能な潤いのある都市づくり・
まちづくりを目指します。



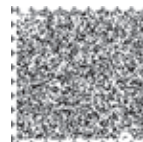
コンパクトで賑わいのある都市づくり・まちづくり

誰もが気軽に
お出かけ
千葉のまち

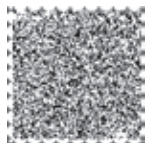




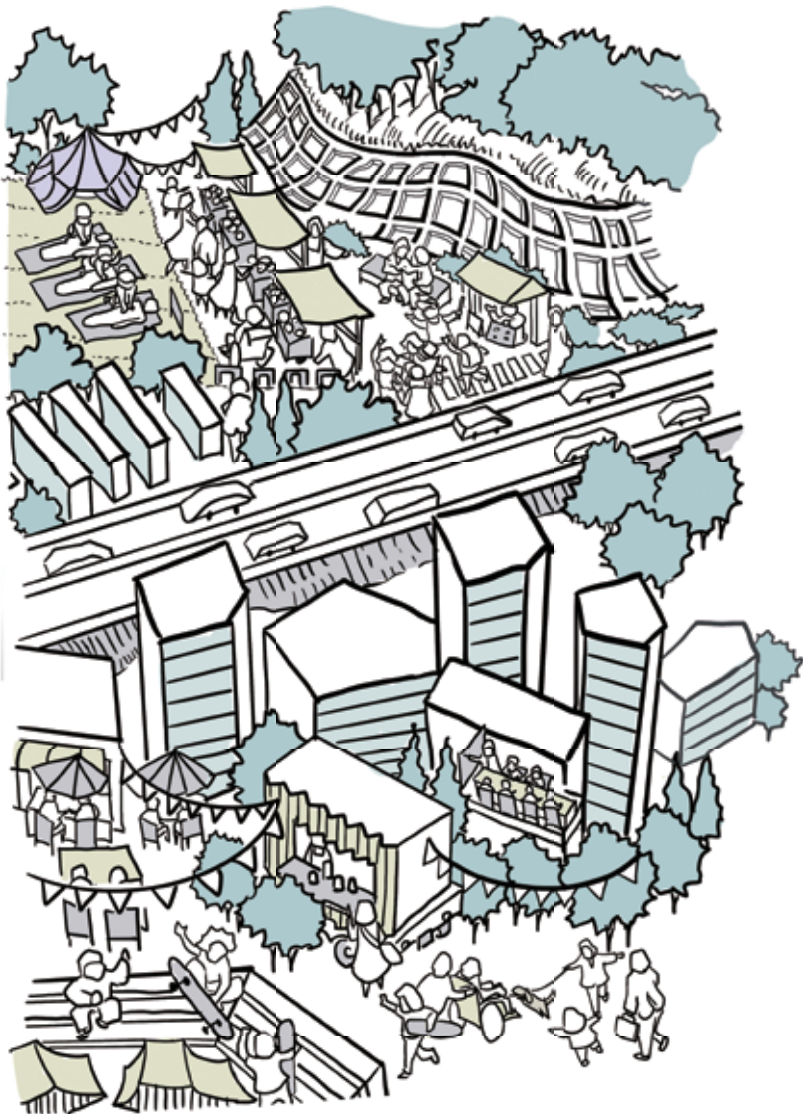
居住・都市機能の緩やかな集約や、公共交通の利便性の維持・向上を推進することで、すべての人が生活利便性や暮らしやすさを実感できる都市づくり・まちづくりを目指します。



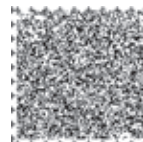
みんなで安心して
暮らし続けられる
千葉のまち



平常時



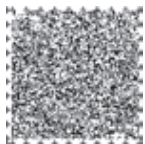
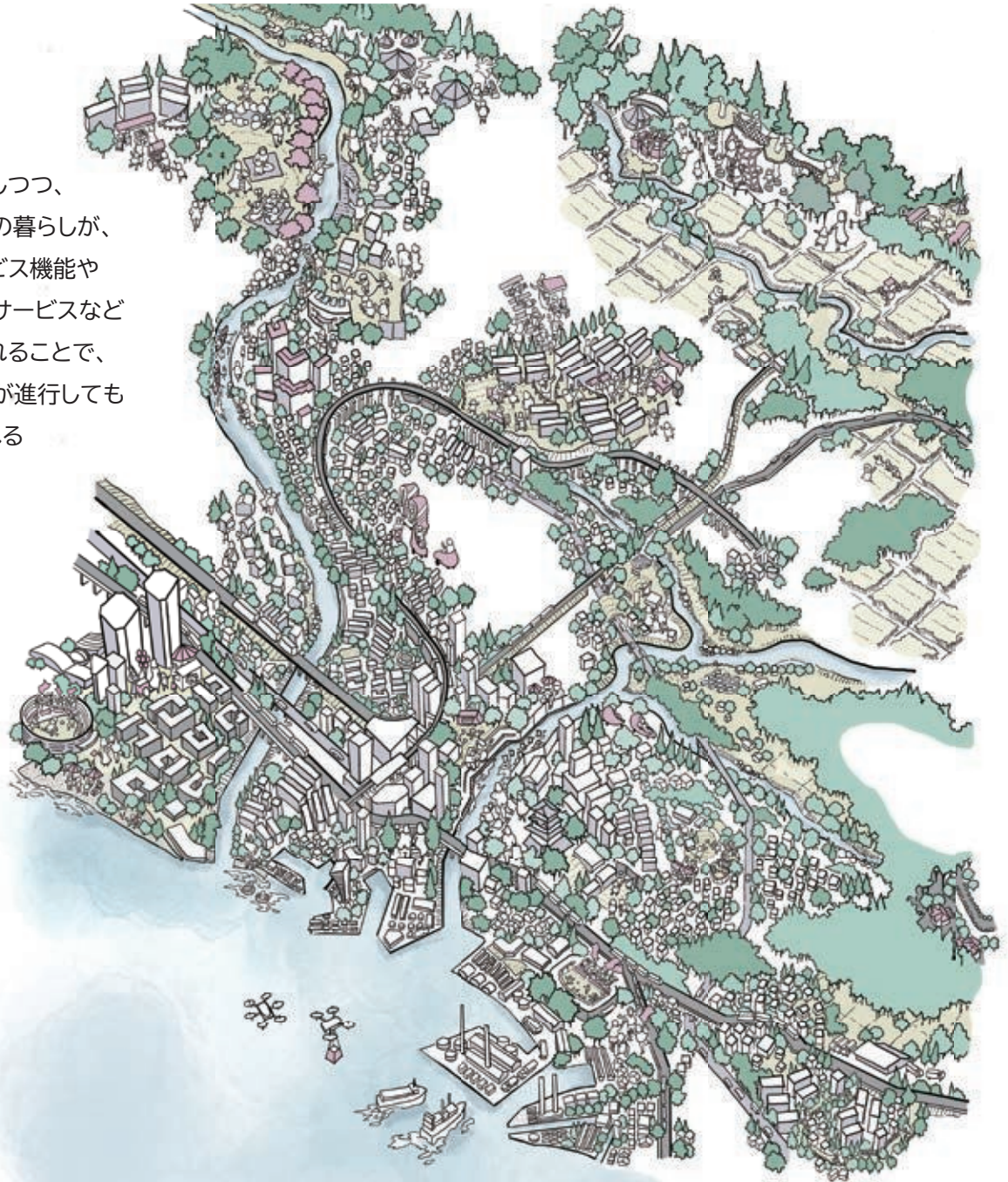
頻発・激甚化する災害への対応や、都市空間のユニバーサルデザイン化の促進、地域防犯や交通安全対策の推進により、安全・安心に暮らせる都市づくり・まちづくりを目指します。



私たちが目指す将来都市構造

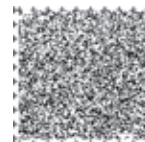
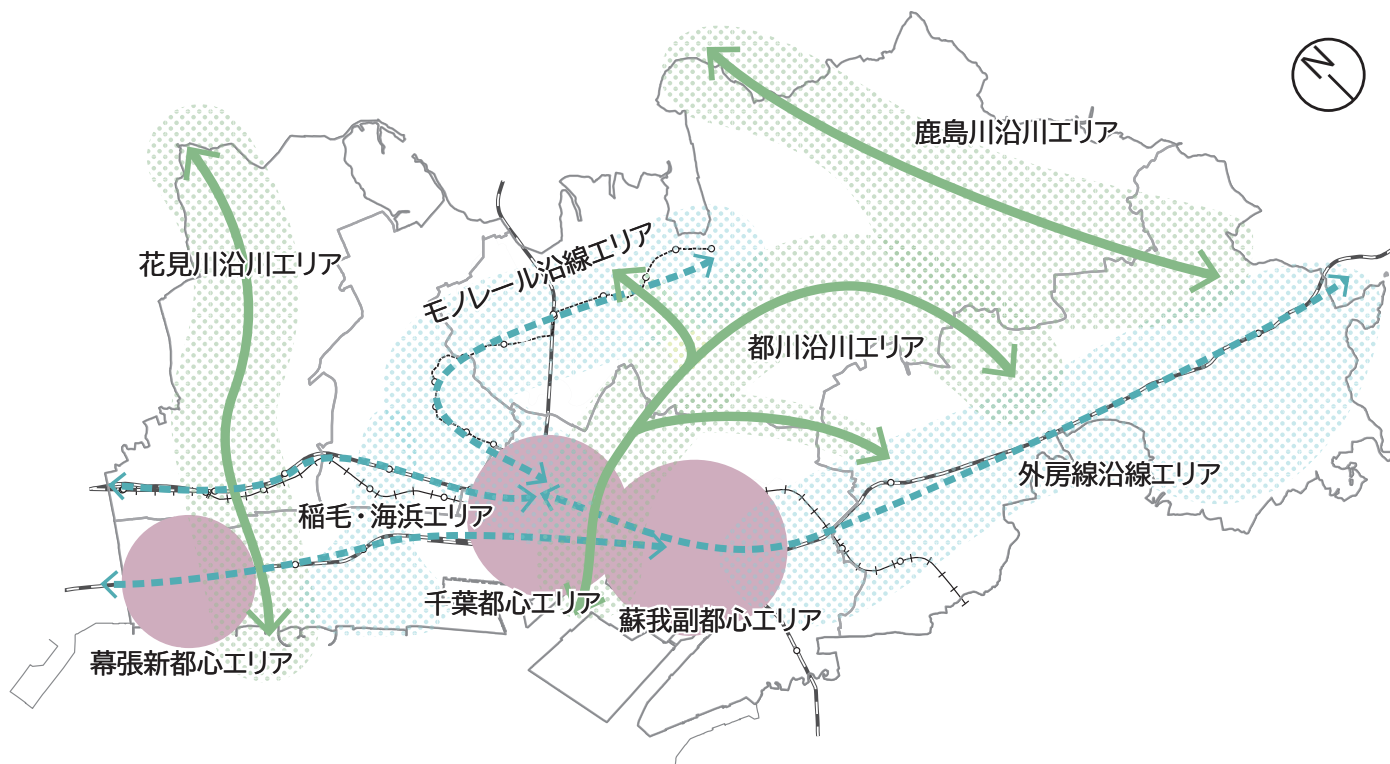
千葉市型コンパクト・プラス・ネットワーク

豊かな緑と水辺と共生しつつ、
多様な経済活動や人々の暮らしが、
地域にあった生活サービス機能や
最適化された公共交通サービスなど
に支えられ活発に営まれることで、
人口減少や少子高齢化が進行しても
安心して暮らし続けられる
将来都市構造です。



都市を構成する要所

都市デザインによる都市づくり・まちづくりへの転換を進めるため、将来都市構造における「拠点・軸」を基に、市内の要所(ツボ)となる9つのエリアの「将来像」や「都市づくり・まちづくりの方向性」を設定しました。





都川下流部（県庁付近）



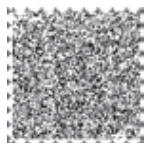
本町公園親水空間



丹後堰（都川と支川都川の合流地点）

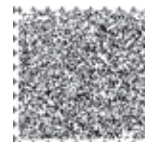
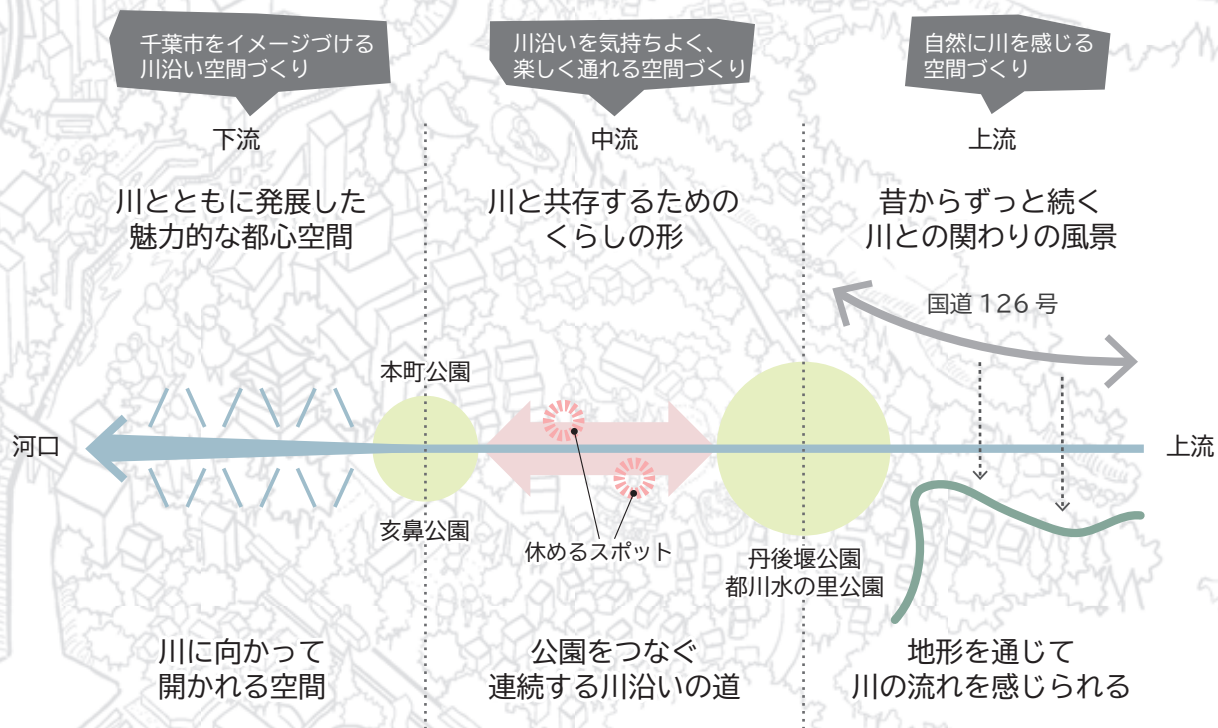
豊かな緑と水辺

都川沿川エリア



田園風景が広がる農村の中を流れる上流部は、自然の中で水の流れるを感じることができ、住宅地の中を流れる暮らしと密接した中流部は、川を眺めながら散策やサイクリングをすることができます。都心を感じさせる下流部は、千葉都心の顔となる界限を流れ、海へと注いでいます。

自然、暮らし、都市の3つすべてを感じられる川





花見川上流部（花島公園お花見広場付近）



花見川下流部（幕張ベイタウン付近）

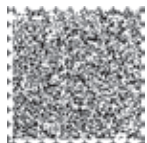


花見川サイクリングコース

撮影：lp_e6nさん（※2）

豊かな緑と水辺

花見川沿川エリア



花見川沿川や花島公園などを中心に豊かな自然や花見川サイクリングコースが整備されており、人々の交流や憩いの場として利用されています。花見川の豊かな自然を軸に隣接し、住宅団地が広がっています。

流れるまちの個性を活かした空間づくり

上流

ありのままの自然を
気軽に楽しめる
空間づくり

住宅団地

花島公園

住宅団地

中流

地域資源を活かした
ゆとりある
親水空間づくり

住宅地

農地

住宅地

下流

人が主役の
コミュニケーションの
場づくり

幕張駅
周辺市街地

民間マリーナ

新検見川駅
周辺市街地

軸の強化





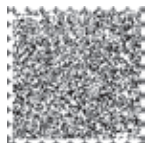
鹿島川 (若葉区大井戸町付近)



富田さとにわ耕園
撮影: waya_koさん (*1)

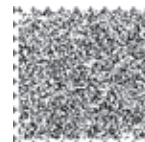
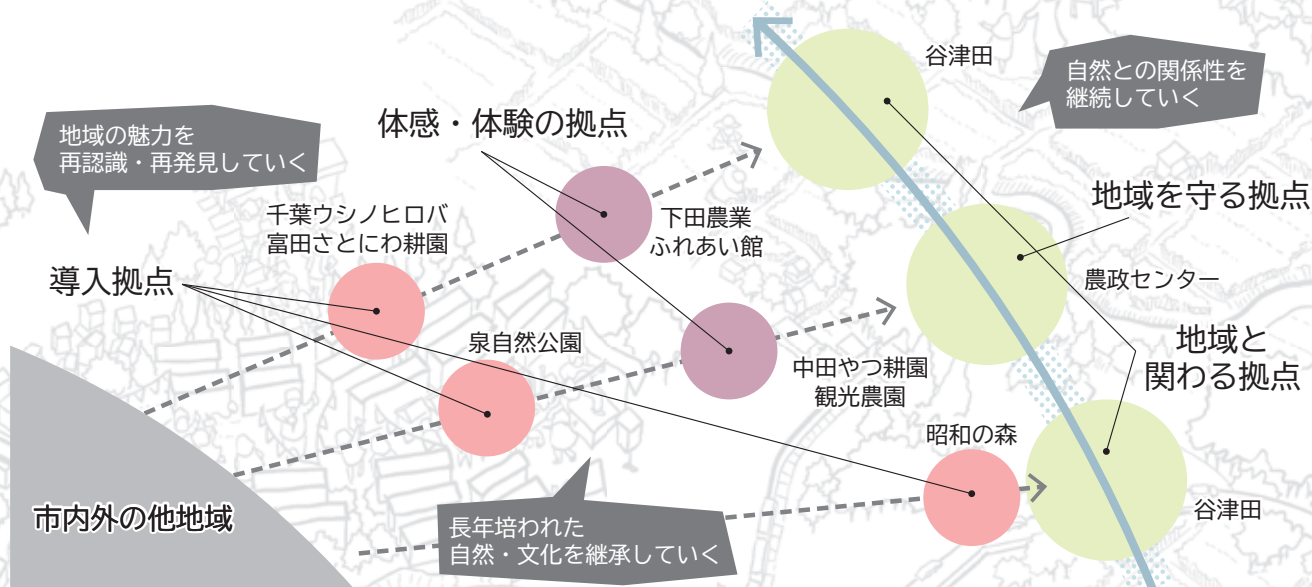
豊かな緑と水辺

鹿島川沿川エリア



鹿島川沿川には農地が広がり、森林などの大規模な緑がまとまって保全されているほか、自然を体感・体験できる施設が集積しています。沿川には本市の原風景であり、多様な生態系を有する谷津田が多く見られ、自然と共に生活する昔ながらのライフスタイルが今も残っています。

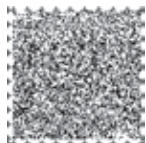
見た目は変わらないが、捉え方が変わった日常の風景





都心（商業・業務・文化の拠点）

千葉都心エリア



千葉駅を中心に県都として広域的な商業・業務機能、文化機能、居住機能など、多様な都市機能が集積する特徴的なまちです。

まちに潤いを与える葭川や、千葉公園をはじめ、亥鼻公園、千葉ポートパークの3つの大規模公園が立地するほか、中央公園プロムナードなどをまちの軸として、豊かな自然を身近に感じることができます。

人と人をつなぐ、「千葉市の顔」となる都心

千葉都心を囲う
3つの森をつなぐ
“ネットワーク”

- ・モノレール
- ・街路樹
- ・公園
- ・プロムナード
- ・都川、葭川

特徴的なエリア
をつなぐネット
ワークの形成

千葉公園・弁天

高質な緑あふれる
空間を整備

↓
「まちの顔」
となる
広大な緑の広場

質の高い緑の整備

中央公園プロムナード

ウォーカブルな
まちなかづくり

千葉ポートパーク

千葉中央港地区

周辺部への緑のにじみだし

亥鼻公園





オフィスビル群



(一社)幕張ベイパークエリアマネジメントによるイベント実施の様子

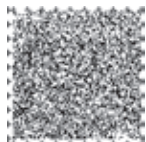


幕張新都心

都心（商業・業務・文化の拠点）

幕張新都心エリア

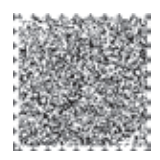
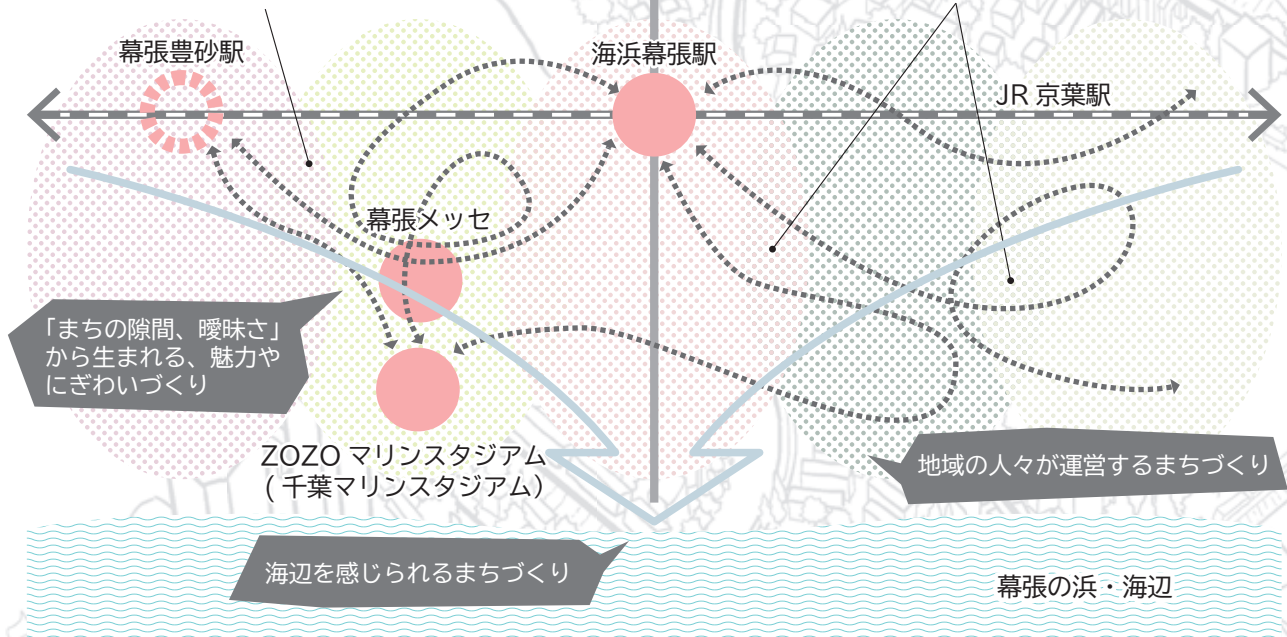
国際交流機能、国際業務機能、研究開発機能、商業・文化機能、スポーツ・レクリエーション機能、住宅機能など、多様な都市機能が一体的に集積しています。大型の集客施設や商業施設等が立地しており、県内最大級の集客力を持ち、多くの人々が集まる拠点であるとともに、常に新たなまちづくりにチャレンジしているエリアです。



行くたびに違う顔を見せる「幕張新都心」

にじみだし空間を経由する新たな人の流れ

機能のにじみだし空間





千葉港（蘇我フェスティバルウォーク付近）



蘇我臨海地区



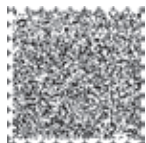
蘇我スポーツ公園（ROCK IN JAPAN FESTIVAL 2023）

都心（商業・業務・文化の拠点）

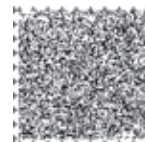
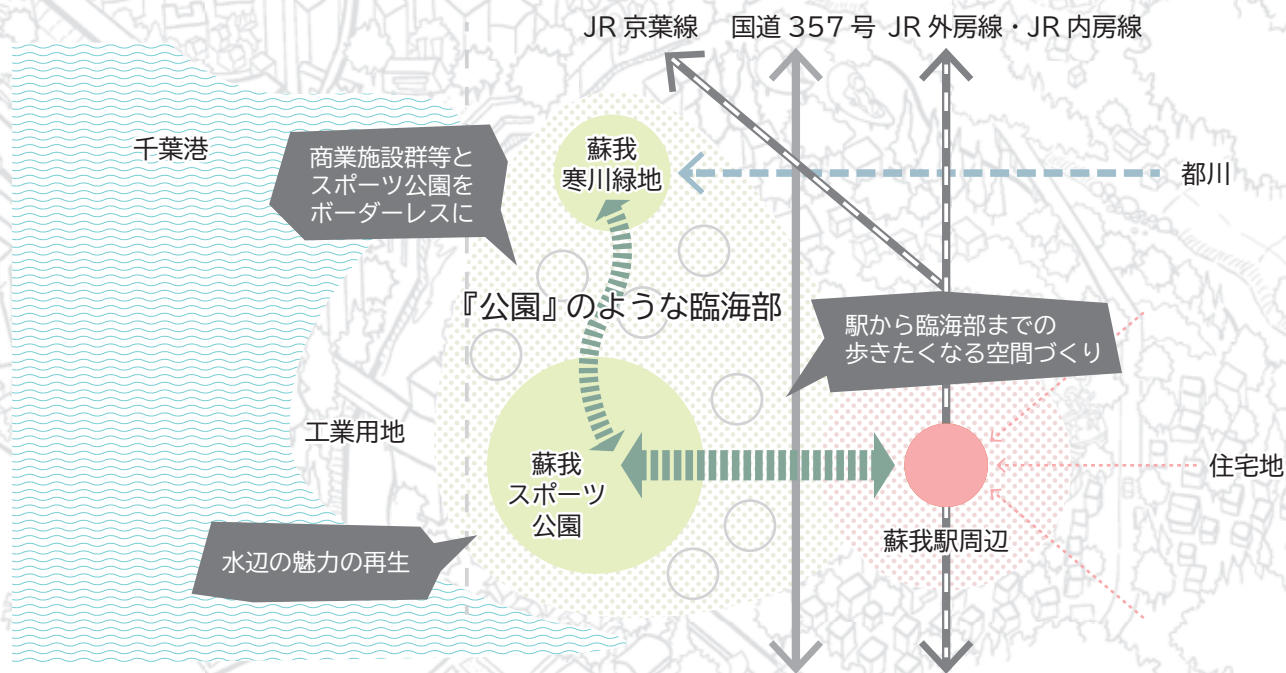
蘇我副都心エリア

ジェフユナイテッド市原・千葉のホームスタジアムを核とした蘇我スポーツ公園が整備されるなど、スポーツのまちとして多くの市民が訪れています。

蘇我臨海部では、工場跡地を活用し、都市基盤などの整備と機能更新が進められ、大規模な商業ゾーンを形成しているほか、緑地等により賑わいのある親水空間が創出されています。



公園のような臨海部を育成し、 副都心としての個性を強める





いなげの浜（海へ延びるウッドデッキ）
撮影：jackal.418さん（*1）



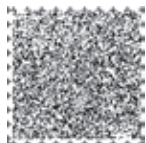
せんげん通り商店街（いなげ八景）（*3）



稲毛あかり祭・夜灯（よとぼし）

駅を中心とした市街地

稲毛・海浜エリア

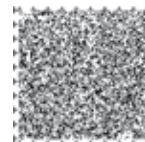
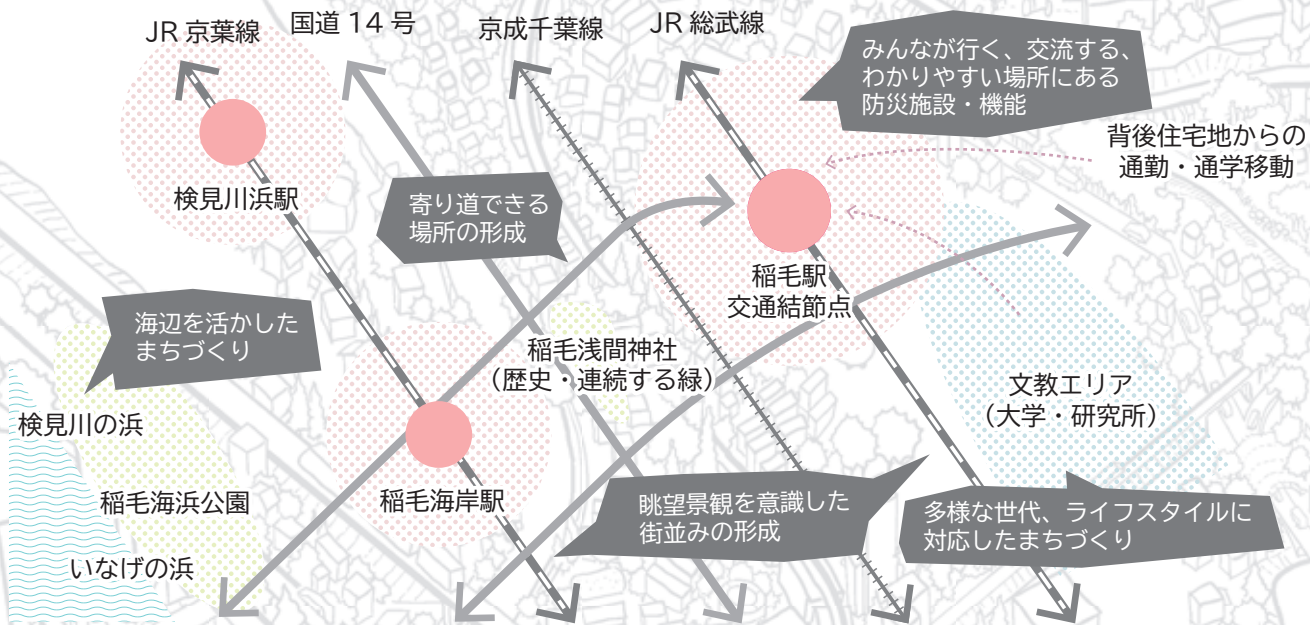


J R 稲毛駅は交通結節点として多くの市民に利用され、多様な人々が通過し、交わる場所となっています。

検見川浜駅や稲毛海岸駅周辺は、計画的に整備された住宅団地として中高層住宅や戸建住宅などが立地しているエリアです。

国道14号付近では、稲毛浅間神社を中心に南北に連続する松林によって、かつての海岸線を感じることができ、海浜部の稲毛海浜公園では海辺を感じる憩いの空間としてとして多くの利用者が訪れています。

寄り道できる、したくなる、稲毛・海浜エリアの形成





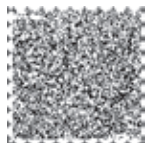
まちなかを通る千葉都市モノレール
撮影: calamari_gramさん (*1)



千葉都市モノレールと千葉公園
撮影: kozrinco_padelさん (*1)

駅を中心とした市街地

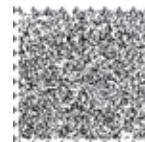
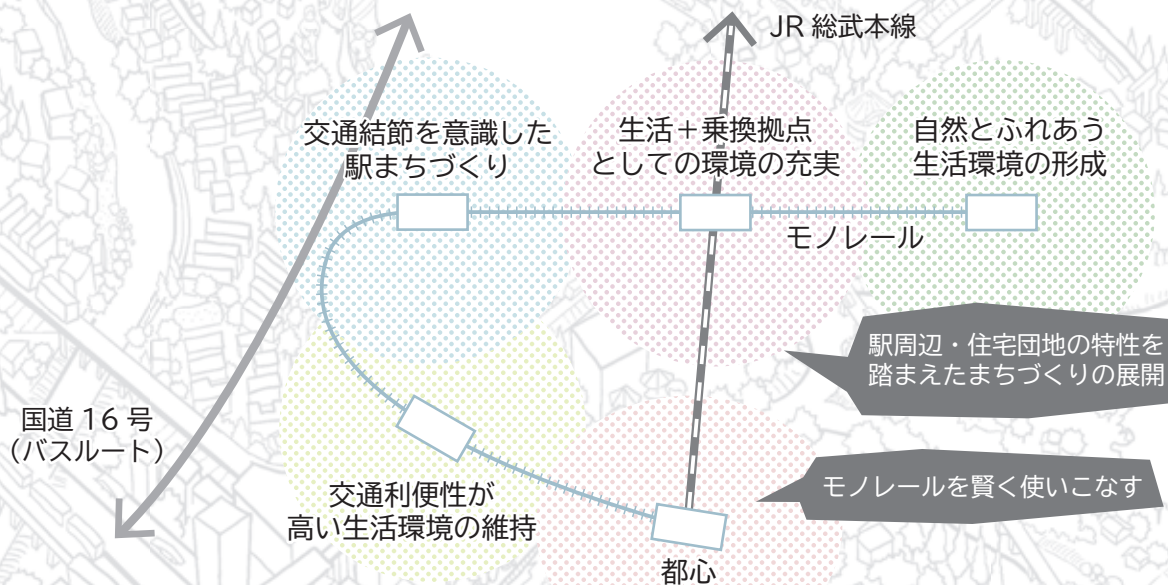
モノレール沿線エリア



モノレール沿線には、市内でも有数の規模の住宅団地が計画的に整備されており、千葉公園、動物公園、加曽利貝塚などの緑に触れることができる自然環境が充実しています。

千葉都市モノレールは、生活に密着した交通インフラであるだけでなく、本市を特徴づける景観資源にもなっています。

モノレールを最大限に使いこなすまち





計画的に整備された住宅地（緑区あすみが丘）



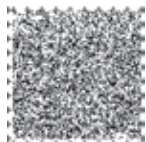
印象的な三角屋根（鎌取駅付近）



おゆみ野・四季の道（春の道）
撮影：arachan_masaさん（*1）

駅を中心とした市街地

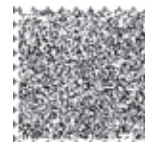
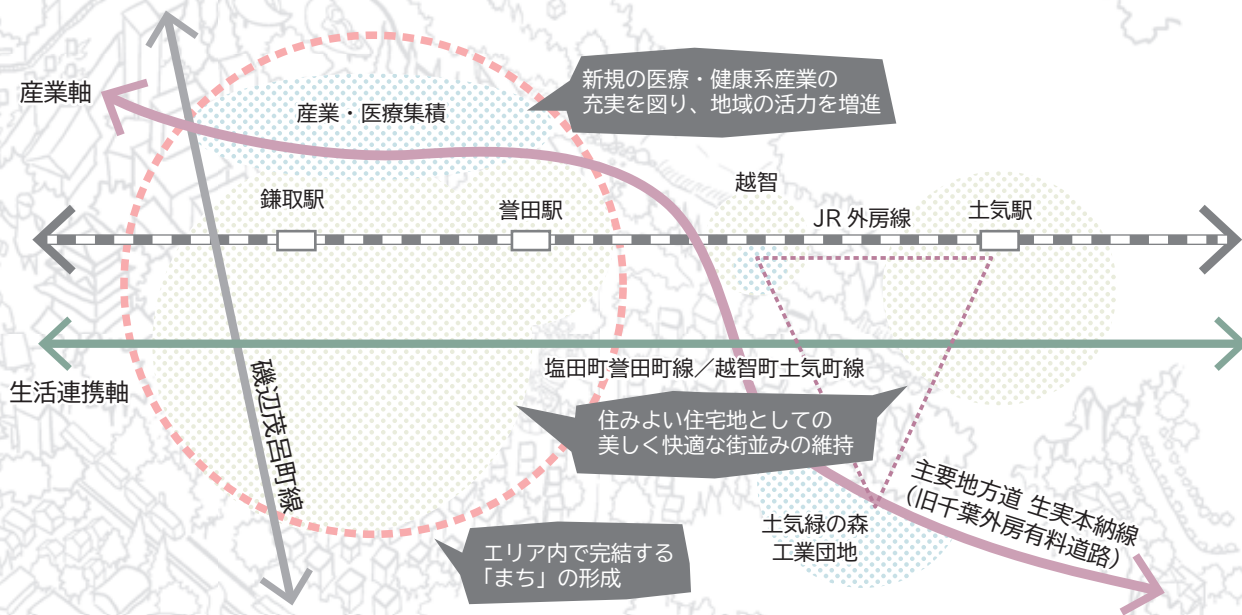
外房線沿線エリア



高台を走る外房線沿線エリアでは、計画的に整備された住宅地が立地しており、周辺の自然環境と調和した緑豊かな街並みが形成されています。

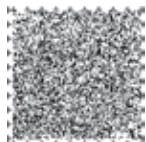
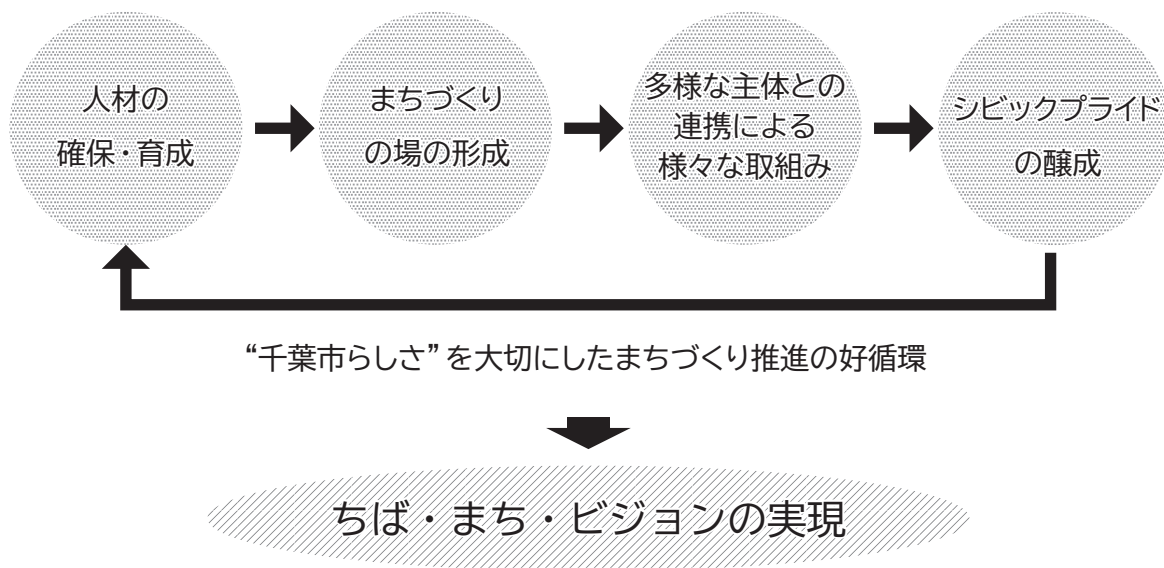
主要地方道生実本納線（旧千葉外房有料道路）沿道には、首都圏最大級の産業拠点のほか、高度かつ専門的な大規模医療施設が数多く立地しています。

市内随一の「住宅地」であり続ける



「ちば・まち・ビジョン」の実現に向けて

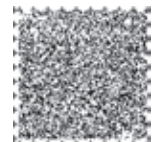
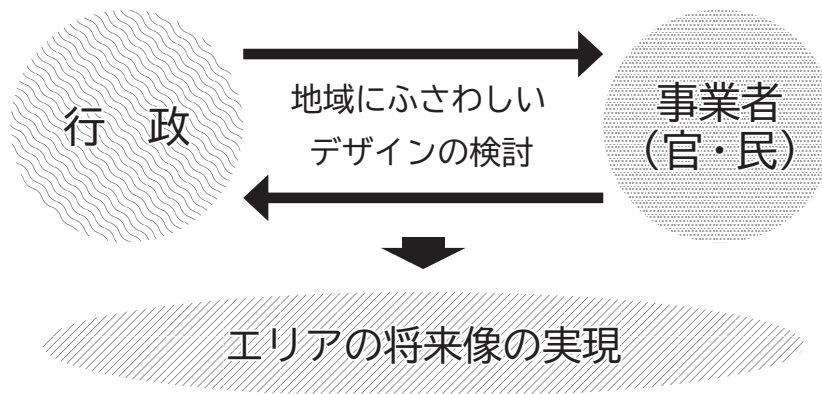
「ちば・まち・ビジョン」の実現には、行政だけでなく、みなさまも一体となって、小さな取組みであってもできることから取り組むこと、それを繰り返していくことが大切です。



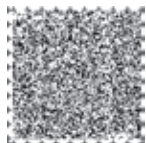
まちづくりに大きな効果や影響を与える事業にあたっては、都市デザインの調整に取り組みます。

市民のライフスタイルなどから見た、地域にふさわしいデザインを検討するために、計画構想の段階から事業者と協議を行い、配慮を求めています。

都市デザインの調整の推進



さあ みんなでまちにでかけよう！



令和 5 年（2023 年）

本冊子に掲載した写真の出典

- *1：政令指定都市移行・区設置30周年フォトコンテスト入賞作品
- *2：千葉市制100周年記念フォトコンテスト入賞作品
- *3：千葉市観光協会提供